

令和7年度

「運営に関する計画」年度当初

大阪市立菅北小学校

令和7年4月

## I 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 令和3年度末の校内調査において、「学校のきまりを守っている」という項目に対して肯定的な回答をした児童は、85.8%である。大阪市平均は90%を超えており、この数値を90%以上にして、規範意識を高める必要がある。そして、当たり前のことと当たり前にできるようにするための指導を継続する必要がある。
- 令和3年度末の経年調査において、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という項目に対して最も肯定的な回答をした児童は、27.0%である。大阪市の平均が37%となっている。そのため、話し合う活動をもっと活発にし、思考の可視化を行い、積極的に自分の考えを述べる子どもを育成する必要がある。
- 令和3年度末の校内調査において、「読書が好きだ」という項目に対して肯定的な回答をした児童は、87.0%であった。大阪市の平均は74.3%と10%以上上回っている。この数値を維持し、読書が好きな児童を90%以上にし、言語力向上に努めていく。
- 令和3年度末の校内調査において、「進んで運動をするのが好きですか」という問い合わせに対して、最も肯定的な「好き」と答える児童は、44.9%である。運動場が狭いことや校区内に思い切り体を動かして遊べる場所が少ないことを勘案した上で、運動好きの児童を育成する必要がある。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和4年度～令和7年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、必要な対応をした割合を令和7年度末には100%にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、「学校の決まりを守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和4年度末より増加させる。  
令和3年度末→本校85.8% 大阪市→90.3% を令和7年度末には肯定的に答える本校の児童の割合を90%以上にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の割合を全児童の1%以下にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、不登校児童の個々のケースについて、必要な対応をした割合を毎年100%にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査において、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の問い合わせについて、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、30%以上にする。（令和3年度末27%）
- ・小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・一人一台端末を活用し、ICT教育を活性化させる。対面式での学習とデジタル教材の両方を組み合わせた学習環境の充実と活用のスキルアップを図る。
- ・教職員が働きやすい環境で児童に接することができる、職場環境の改善を図る。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

「自分大好き！ 友だち大好き！ 菅北大好き！」をテーマとしてすべての取り組みを進めていく。

学校・保護者、地域の三者が一体となって、自尊感情を基盤として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくんでいく。

自分大好き！・・・自分自身を好きになる・自分に自信を持つ  
友だち大好き！・・・友だちを好きになること、認め、認められる集団の中で生きる。

菅北大好き！・・・菅北地域の学校、地域、自分を取り巻くすべてを好きになる。誇りに思える。



児童の主体性、意欲、根気、協力、絆、安心感、誇りをもって成長する児童をはぐくむ。

安心・安全・学力・体力などの向上につなげていく。

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・小学校学力経年調査における「学校にいくのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

### 【本校の取り組み内容】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%にする。
- ② 小学校学力経年調査における「人の役にたちたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に答える児童の割合を80%にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級における友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、30%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を64%以上にする。

## 【本校の取り組み内容】

- ① 国語科・算数科において、3年生から6年生の大阪市学力経年調査の平均得点で大阪市の平均を超える。
- ② 校内調査で「家で自主的な学習をしている」に対し肯定的にとらえる児童の割合を昨年度以上にする。
- ③ 放課後の読書タイムやブックサポートなどを使って読書に親しみ、読書ノートを活用して読書意欲を高める。校内調査「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。
- ④ 「進んで運動しようとしている」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。「よい姿勢を保つことができる」に対し肯定的に答える児童の割合を75%にする。（姿勢体操、体幹トレーニング、学習の姿勢、食事の姿勢など・・・）
- ⑤ 食育を通して、自分の健康に関心を持つ気持ちを向上させる。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- ・ 令和7年度末までに、校務パソコンの活用やデジタル化の効率を図り、残業時間が月に45時間以上の教職員を13%以下にする。
- ・ 教職員が身体的、精神的に健康な状態で余裕をもって児童にかかわることができるよう週1回の「ゆとりの日」を年間70%以上設定する。

## 【本校の取り組み内容】

### ● ICTの活用に関する目標を設定する。

- ① 心の天気の入力や学習に、毎日2回以上使用する。
- ② 「家で学習している」に対し肯定的に答える児童の割合を増やす。

### ● 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。

- ③ 残業時間を月に45時間以下にする（努力目標）
- ④ ゆとりの日を週に1日設定する。

大阪市立菅北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校学力経年調査における「学校にいくのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</li> <li>● 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>● 年度末の校内調査において不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> </ul> <p>【本校の取り組み内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%にする。</li> <li>② 小学校学力経年調査における「人の役に立ちたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%にする。</li> <li>③ 小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に答える児童の割合を80%にする。</li> </ol>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <p>学校行事・学級活動などを充実させるなどして、児童一人一人が活躍できる場や認められる場を計画的、日常的に設定することで、学校を安全で楽しく過ごせる場所にする。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか？」に対して肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上に向上させる。(86%)</p>	
<p>取組内容② 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳の学習を中心に認め合い支えあう意識を高める。学級での係活動、高学年での委員会活動の活性化や当番活動などの取り組みを充実させながら児童が人の役に立ちたい、立っている意識を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査「人の役に立つ行動ができた」と肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

**取組内容③ 【施策2 豊かな心の育成】**

学校行事、学級活動、集会活動などの児童会活動を通して、互いに認め合う集団の育成に努める。自分自身を好きになり友だちも好きになれるような認め合える集団を通じて、自尊感情を高める。

**指標**

校内調査「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に答える児童の割合を81%以上にする。

**取組内容④ 【施策2 豊かな心の育成】**

あいさつを通して気持ちを伝えたり、自分に関わる人たちとあいさつを交わしたりすることで、人ととの関係をスムーズにできるようにする。

**指標**

校内調査「すすんでよくあいさつをしている」に対して肯定的に答える児童の割合を89%以上を維持する。

**取組内容⑤ 【施策2 豊かな心の育成】**

日々の学級活動や学習、行事などを通して、友達のことが大事にできる。

**指標**

校内調査で「友だちからやさしくされていますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を83%以上にする。

「友達関係には満足していますか」（参考データ R6年度大阪市経年調査）

**取組内容⑥ 【施策3 連携】**

PTA・地域との連携を図り、児童の安心安全、の向上、菅北地域の活性化のサポートを図り、児童が活躍できる機会、場所を一層確保する。

**指標**

情報発信を積極的に行うことで、交流を深めていく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度に向けた改善点

大阪市立菅北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校学力経年調査における「学級における友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、30%以上にする。</li> <li>● 小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。</li> <li>● 小学校学力経年調査における「運動やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を64%以上にする。</li> </ul> <p>【本校の取り組み内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国語科・算数科において、3年生から6年生の大阪市学力経年調査の平均得点で大阪市の平均を超える。</li> <li>② 校内調査で「家で自主的な学習をしている」に対し肯定的にとらえる児童の割合を向上させる。</li> <li>③ 放課後の読書タイムやブックサポートなどを使って読書に親しみ、読書ノートを活用して読書意欲を高める。校内調査「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。</li> <li>④ 「進んで運動しようとしている」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。</li> <li>⑤ 校内調査で「よい姿勢を意識して、日常生活の中で姿勢を意識できていますか」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。</li> <li>⑥ 校内調査で「食に関心を持って食事をしているか」で肯定的に答える児童の割合を維持する。</li> </ol>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業</p> <p>学力状況調査・学力経年調査の分析結果、個人の学習進捗に合わせ、児童一人一人の学力に応じた学習指導の充実を図り、専科担任制を活用して教材研究を充実させ、わかる授業を展開する。</p>	
<p>指標</p> <p>国語科・算数科において、3年生から6年生の大阪市学力経年調査の平均得点で大阪市の平均を超える。</p>	
<p>取組内容② 【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業力</p> <p>授業力の向上を図る。同時に若手教員の育成にも努める。</p>	

<p><b>指標</b></p> <p>研究テーマに沿った公開授業を一人一授業をすることで、授業力、教材研究力などの教員一人一人のスキルアップを図る。</p>	
<p><b>取組内容③【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】自主学習</b></p> <p>家庭において宿題以外に学年の発達段階に応じた自主学習に取り組ませることで、家庭における自主学習の習慣を身に付けさせる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>校内調査「家で自主的な学習をしている」に対し肯定的にとらえる児童の割合を前年度より向上させる。(54%以上)</p>	
<p><b>取組内容④【施策8 生涯学習の支援】読書活動</b></p> <p>読書タイム、読書活動、読書の機会、読書の授業などを積極的に工夫して、読書に親しみ、読書ノートを活用して読書意欲を高める。読書に慣れ親しませ、文章を読むことを厭わない児童を育成する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>校内調査で「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。(75%以上)</p>	
<p><b>取組内容⑤【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】対話的学習</b></p> <p>「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業を通して、児童が対話的な活動を自分の意見を持ち、表現することで主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>校内調査「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」と、肯定的に回答する児童の割合を維持する。(80%以上)</p>	
<p><b>取組内容⑥【施策5 健やかな体の育成】</b></p> <p>体育の授業の工夫や体育的な行事、運動強調週間などを活用して児童が進んで運動をしようとする意欲を向上させる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>校内調査で「進んで運動しようとしている」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。(80%以上)</p>	
<p><b>取組内容⑦【施策5 健やかな体の育成】</b></p> <p>児童を主体として、本校独自の体幹姿勢体操に継続して取り組む。体幹姿勢体操を通して、体力の強化、日常生活の中で姿勢を意識できるように努める。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>校内調査で「よい姿勢を意識して、日常生活の中で姿勢を意識できていますか」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。(73%以上)</p>	
<p><b>取組内容⑧【施策5 健やかな体の育成】</b></p> <p>食育を通して、児童を主体として、食に関する習慣(バランスよく食べる、よくかんで食べる。)を意識できるように努める。</p>	

**指標**

校内調査で「食に関心を持って食事をしているか」で肯定的に答える児童の割合を維持する。(90%以上)

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

次年度に向けた改善点

大阪市立菅北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。 (ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)</li> <li>「家でタブレットを使った学習を行っている」と肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。</li> <li>令和7年度末までに、校務パソコンの活用や業務の効率を図り、残業時間を月に45時間以下にする。</li> <li>教職員が身体的、精神的に健康な状態で余裕をもって児童にかかわることができるように「ゆとりの日」を設定する。</li> </ul> <p>【本校の取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTの活用に関する目標を設定する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 心の天気の入力や学習に、毎日2回以上使用する</li> <li>② 「タブレットを使った学習は役に立っている」に対し肯定的に答える児童の割合(再掲)を増やす。</li> </ol> </li> <li>● 教職員の働き方改革に関する目標を設定する。</li> <li>③ 残業時間を月に45時間以下にする</li> <li>④ ゆとりの日を週に1日設定する。</li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策6 教育DXの推進】</p> <p>一人一台端末の日常での活用率を向上させる。(毎日使用する。)</p> <p>指標</p> <p>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 デジタル課題</p> <p>個に応じたデジタル教材やアプリケーションを選定することで、個別最適な学び・協働な学びを行える環境整備をする。</p> <p>指標</p> <p>校内調査「タブレットを使った学習は、役に立っている」と肯定的に答える児童の割合を維持する。(88%)</p>	
<p>取組内容③ 【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>職員間の連絡を校務系システムを利用して行うことで、時間外勤務時間を軽減させる。</p>	

<p><b>指標</b></p> <p>月の時間外勤務時間が45時間以下の職員の割合を増やす。</p>	
<p><b>取組内容④【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>教職員が身体的、精神的に健康な状態で余裕をもって児童にかかわることができるように、会議や全体会を精選する。また、「ゆとりの日」には、会議や打ち合わせを設定しないようにする。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>「ゆとりの日」を週に1日設定する（毎週金曜日を原則とする。）</p>	
年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	